

# 2022 (令和4) 年度 後期 駒澤大学 公開講座 ～オンデマンド配信～



各講座のお申し込みは、下記QRコード または  
駒澤大学ホームページ よりお手続きください。

## 【10月講座】 禅の歴史の諸相

講 師：大澤 邦由（駒澤大学 仏教学部 准教授）

館 隆志（駒澤大学 仏教学部 専任講師）

受講料：4,000 円（全4回分） 定 員：800名

【申込締切】9 / 9（金）

配信日：10/1（土） 10/8（土） 10/15（土） 10/22（土）

## 【11月講座】 権力者たちの視点から見る世界遺産

講 師：大城 道則（駒澤大学 文学部 歴史学科 教授）

角道 亮介（駒澤大学 文学部 歴史学科 准教授）

佐々木 真（駒澤大学 文学部 歴史学科 教授）

飯田 洋介（駒澤大学 文学部 歴史学科 教授）

受講料：4,000 円（全4回分） 定 員：800名

【申込締切】10 / 10（月）

配信日：11/1（火） 11/8（火） 11/15（火） 11/22（火）

## 【12月講座】 空海『三教指帰』執筆の真意

講 師：藤井 淳（駒澤大学 仏教学部 教授）

受講料：4,000 円（全4回分） 定 員：800名

【申込締切】11 / 10（木）

配信日：12/1（木） 12/8（木） 12/15（木） 12/22（木）

## 【1月講座】 コロナ禍のスウェーデンからみえてくる日本の課題

講 師：姉齒 暁（駒澤大学 経済学部 商学科 教授）

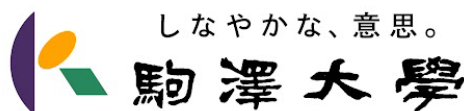
受講料：4,000 円（全4回分） 定 員：800名

【申込締切】12 / 9（金）

配信日：1/14（土） 1/21（土） 1/28（土） 2/4（土）

【お問い合わせ】 駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当  
電話：03-3702-9625 FAX：03-3702-9626  
（月～金：9時～17時 ※12時30分～13時30分は除く）

講座申込フォームはコチラ



後援/世田谷区教育委員会

駒沢キャンパス  
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
東急田園都市線「駒沢大学」駅  
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分  
駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

駒澤大学公開講座では、新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが立たない状況であることから受講者の皆さまの安全を考え、すべての講座をオンデマンド配信で開講します。オンデマンド配信は、パソコン、タブレットなどを利用して、ご都合の良いときに受講いただけるものです。配信期間中(各回、初回配信日から2週間)であれば何度も視聴できます。受講にあたっては、メールアドレスをお持ちであることと、インターネット接続の環境があることが必要です。

<p>10月講座</p> <h2>禅の歴史の諸相</h2> <p>申込締切 9/9(金)</p> <p>講師:大澤 邦由 (駒澤大学 仏教学部 准教授) 館 隆志 (駒澤大学 仏教学部 専任講師)</p> <p>菩提達摩が中国に伝えたという禅の教えは、その時々において様々に受け止められ、受け継がれ、実践されてきました。その教えと歴史は実に多様性を含んでいます。本講座の前半(第1回、第2回)では中国において宋代以降、僧俗問わず幅広く読まれた『楞嚴経』の教えと禅宗とのつながりについて考えます。後半(第3回、第4回)では禅宗が日本に入ってきた頃の歴史、すなわち鎌倉時代の禅宗について取り上げます。</p> <p>受講料:4,000円(全4回)</p> <p>初回配信日</p> <p>第1回 禅と『楞嚴経』入門 【10/ 1(土)】 第2回 『楞嚴経』の教えとその影響 【10/ 8(土)】 第3回 鎌倉時代の禅宗① 道元禅師と栄西禅師 【10/15(土)】 第4回 鎌倉時代の禅宗② 達磨宗について 【10/22(土)】</p>	<p>11月講座</p> <h2>権力者たちの視点から見る世界遺産</h2> <p>申込締切 10/10(月)</p> <p>講師:大城 道則 (駒澤大学 文学部 歴史学科 教授) 角道 亮介 (駒澤大学 文学部 歴史学科 准教授) 佐々木 真 (駒澤大学 文学部 歴史学科 教授) 飯田 洋介 (駒澤大学 文学部 歴史学科 教授)</p> <p>コロナ禍からいまだ完全に抜け出せたとはいえない昨今、来るべきアフターコロナの時代を見据えて海外の歴史に思いを馳せておくのも良いだろう。まだ行ったことが無い場所、一度は訪れてみたい場所、誰かと一緒に歩きたい場所に一度は立ちてみたいという思いは誰もが持っているはずだ。本講座で毎回取り上げるのは、人類が創り上げた屈指の建造物(それら建造物の多くが世界遺産に認定されている)とそれらにまつわる権力者たちである。彼らの視点と彼らの生きた時代を通して見えてくる「世界遺産」の持つ意味を受講生の皆さまと考えてみたいと思います。</p> <p>受講料:4,000円(全4回)</p> <p>初回配信日</p> <p>第1回 ギザのピラミッド(エジプト)とクフ王 【11/ 1(火)】 第2回 万里の長城(中国)と始皇帝 【11/ 8(火)】 第3回 ヴェルサイユ宮殿(フランス)とルイ14世 【11/15(火)】 第4回 サンクスン宮殿(ドイツ)とフリードリヒ大王 【11/22(火)】</p>
<p>12月講座</p> <h2>空海 『三教指帰』執筆の真意</h2> <p>申込締切 11/10(木)</p> <p>講師:藤井 淳 (駒澤大学 仏教学部 教授)</p> <p>空海は24歳のときに『聳髻指帰(ろうこしいき)』を著した。『三教指帰』は『聳髻指帰』を40歳を過ぎてから空海が一部を改めたものである。『三教指帰』で空海は親族に対して儒教・道教・仏教という三つの教えを比較し、仏教が最も優れていることを示し、官僚となるべく学んでいた大学を決然として辞して僧侶となった。そして従来『三教指帰』は「三つの教えを比較した作品」という理解が中心であった。しかし、その構成と登場人物の名前に注目すると空海は単なる比較を意図していたものではないようである。本講座では空海が本書を著した時代背景を詳しく見ることで、本書の執筆の真意を考えてみたい。</p> <p>受講料:4,000円(全4回)</p> <p>初回配信日</p> <p>第1回 空海と古代豪族・佐伯氏 【12/ 1(木)】 第2回 桓武天皇の二大政策 蝦夷征討と長岡京・平安京遷都一 【12/ 8(木)】 第3回 『三教指帰』とは 【12/15(木)】 第4回 『三教指帰』に秘められた桓武天皇への諫言(かんげん) 【12/22(木)】</p>	<p>1月講座</p> <h2>コロナ禍のスウェーデンからみえてくる日本の課題</h2> <p>申込締切 12/9(金)</p> <p>講師:姉齒 暁 (駒澤大学 経済学部 商学科 教授)</p> <p>世界中を席卷したCOVID-19はスウェーデンでも甚大な被害をもたらしました。感染者数の急増、高齢者の大量感染死、その一方でマスクなし、ロックダウンなしで過ごすスウェーデンのコロナ対策は欧米はもちろん日本でも話題になりました。ちょうどその時期にスウェーデンのルンドという大学街で暮らした経験を踏まえ、前半はスウェーデンに対して寄せられた批判と、その中にある事実と誤解、そしてスウェーデンのバンデミックから人々を守ったものと命を危険に晒したものについて、後半では福祉政策や男女平等政策や労働のありかた、報道の自由や政府機関の自立性など、日本にとっての課題の数々をスウェーデンの事例から逆に読み解きたいと思います。</p> <p>受講料:4,000円(全4回)</p> <p>初回配信日</p> <p>第1回 コロナ禍のスウェーデン:コロナ対策と人々の生活 【1/ 14(土)】 第2回 スウェーデンの福祉政策・労働運動と新自由主義の影響 【1/ 21(土)】 第3回 スウェーデンから日本のジェンダー平等を考える 【1/ 28(土)】 第4回 非同盟中立国スウェーデンのNATO加盟問題から見えるスウェーデンの真の姿 【2/ 4(土)】</p>

講座の申込は専用申込サイトで受け付けます。オモテ面または右記のQRコードを読み取るか駒澤大学ホームページの「イベント欄」に掲載されている公開講座のサイトよりお手続きください。

講座申込フォームはコチラ



駒澤大学 検索

【お問い合わせ】

駒澤大学 深沢校舎事務室 公開講座担当  
電話:03-3702-9625 FAX:03-3702-9626  
(月~金:9時~17時 ※12時30分~13時30分は除く)

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
東急田園都市線「駒沢大学」駅  
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分  
駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>